



江ノ電・嵐電 姉妹提携15周年記念 共同PR事業「あたらしいコトみつけよう」

第2回「言の葉に託した想い ~ 京都 大覚寺大沢池、鎌倉 腰越海岸」

江ノ島電鉄株式会社（本社：神奈川県藤沢市、社長：黒田聡）と京福電気鉄道株式会社（本社：京都市中京区、社長：大塚憲郎）は、2009年に両社で提携した「江ノ電・嵐電姉妹提携」が本年10月に15周年を迎えることに合わせ、東西の古都である鎌倉と京都の観光施設等を1枚のポスター、チラシで紹介し、新しい“こと”を見つけていく共同PR事業「あたらしいコトみつけよう」を実施しています。

本シリーズ第2回として、万葉集に詠われた両古都の水辺を紹介する「言の葉に託した想い～京都 大覚寺大沢池（おおさわのいけ）、鎌倉 腰越（こしごえ）海岸」が完成、夏シーズンのPRを開始します。

なお、本事業は一般社団法人日本民営鉄道協会の「地方民鉄関係事業」の一環として実施しています。

京都 大覚寺大沢池

あたらしいコトみつけよう

言の葉に託した想い

鎌倉 腰越海岸

特別協力
旧嵯峨御所 大本山大覚寺

協賛
嵯峨嵐山文華館

制作
江ノ電 嵐電

後援
鎌倉市観光協会

『小倉百人一首』にみる水にちなんだ二首

学校の授業や、かるた取り大会でもお馴染みの『小倉百人一首』は、平安時代末期～鎌倉時代に歌人としても活躍した公家の藤原定家が、京都の小倉山の麓にある山荘で百人の歌人の秀れた和歌を一首ずつ選び、和歌集として編纂したものです。平安・鎌倉の時を超え、二人の歌人が大覚寺大沢池、鎌倉海岸の水を歌に詠みました。

<p>『滝の音は 絶えて久しく なりぬれど 名こそ流れて なほ聞こえけれ』 大納言公任</p> <p>嵯峨嵐山文華館所蔵</p>	<p>『世の中は 常にもがもな 清濁ぐ 海人の小舟の 御手かなしも』 鎌倉右大臣</p> <p>嵯峨嵐山文華館所蔵</p>
--	---

大納言公任（藤原公任）

「滝の水の音が聞こえなくなつてから長い年月が経ってしまったが、その評判だけは、今日でも知られていることだ」と詠んだ藤原公任（ふじわらのきんとう）は藤原道長の全盛期を大納言として補佐しました。

大覚寺と大沢池

弘法大師空海を宗祖と仰ぐ真言宗大覚寺派の本山で、正式には旧嵯峨御所大本山大覚寺と称し、嵯峨御所とも呼ばれています。平安初期、嵯峨天皇が桓仁皇后とのご成婚の新室である離宮（離宮嵯峨院）を建立され、876年に嵯峨院が大覚寺となりました。公任が訪れた時には庭園にある滝が既に枯れていたのですが、今も「若古曾の滝」跡が残っています。大沢池は嵯峨天皇が造営された、周囲約1kmの日本最古の人工の林泉（林や泉水などのある庭園）です。

【アクセス】

京都市右京区嵯峨大沢町4 TEL：075-871-0071
京福嵐山線「嵐電嵯峨院」下車、徒歩25分
もしくは京都バス・京都バス「大覚寺」下車

鎌倉右大臣（源実朝）

「世の中はこんな風に常にならなくて欲しい。潜で漁師の漕ぐ小舟が引き綱を引いている、この何気ない様子に心惹かれるなあ」と詠んだ3代将軍実朝でしたが、鶴岡八幡宮で右大臣就任を報告する拝賀式の帰途、甥の公暲に命を奪われるという波乱の最期を迎えることになります。

腰越海岸

現在、沖にサーフィンを楽しむ人が集う腰越海岸では、名物のしらす漁やわかめの養殖などが営まれ、毎月第1・3木曜日に開催される朝市は新鮮な海の幸を求める人で賑わいます。実朝が心惹かれた湘南らしい景色と、日常から離れた何気ない時間を感じられる海街がここには変わらず続いています。

【アクセス】

江ノ電「腰越駅」下車、徒歩5分

嵯峨嵐山文華館

京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11-1 <https://www.sanac.jp/>

百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアム。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込むロケーションで、1階の常設展示では、この地で藤原定家が撰んだ百人一首の歴史を、現代の競技かるたも含めてご紹介。百人一首と日本画を楽しむ、ゆったりとおくつろぎいただけます。

江ノ電×嵐電 共同PR事業「あたらしいコトみつけよう」
鎌倉・京都。東西の「古都」で六感をときめき、あたらしい「コト」をたくさん見つけてみませんか。
2024年10月14日に姉妹提携15周年を迎える江ノ電・嵐電は、
鎌倉・京都の魅力の発信と持続可能な観光の実現を目指します。

▲「あたらしいコトみつけよう」第2回 大沢池・腰越海岸ポスターイメージ

【概要】

共同PRの第1回は、鎌倉の円覚寺（えんがくじ）と京都の鹿王院（ろくおういん）という、源実朝が宋から招来した仏牙舍利（ぶつげしゃり）で結ばれた、東西の舍利殿をテーマに制作しました。

第2回は、夏にふさわしくさわやかな水辺の景色を紹介します。嵐電嵐山駅にほど近い京都市右京区嵯峨は、藤原定家が小倉百人一首を編纂したところ。小倉百人一首には、藤原氏全盛期に藤原道長を支えた藤原公任（ふじわらのきんとう）が大覚寺大沢池を詠んだ一首と、鎌倉幕府3代将軍源実朝が腰越海岸を詠んだ一首とが収録されています。時代は異なりますが、繊細な「言の葉」に思いを馳せながら、京都と鎌倉の水辺の散策をイメージしていただくデザインとしました。なお今回は、旧嵯峨御所 大本山大覚寺、嵯峨嵐山文華館、鎌倉・藤沢観光協議会の特別協力を得て、制作しました。

【背景】

鎌倉と京都は、政治・経済・文化など、長い歴史の中で連携・交流し、また時に東西政権で激しく争うなど、深いつながりを持つ東西の古都です。近年は急増する観光需要の中、特定のエリア・時間帯への極端な観光集中など、共通するオーバーツーリズムの課題も抱えています。

両社は同じ課題に取り組む地域で観光路線・生活路線双方の顔を持つ事業者として、オーソドックスな「古都の観光」に加え、隠れた名所、新たな視点で沿線を観光体験ができる施設や場所などを訪れる旅行者に提案し、共同でPRを行い、回遊・分散化による観光集中の緩和を促進、住民生活と共存する持続可能な観光の実現を目指します。

【江ノ電・嵐電共同PR事業「あたらしいコトみつけよう」】

第2回 「言の葉に託した想い ～ 京都 大覚寺大沢池、鎌倉 腰越海岸」

- 〈事業主体〉 江ノ島電鉄株式会社 京福電気鉄道株式会社
- 〈特別協力〉 旧嵯峨御所 大本山大覚寺 嵯峨嵐山文華館 鎌倉・藤沢観光協議会
- 〈後援〉 公益社団法人鎌倉市観光協会 公益社団法人京都市観光協会
- 〈期間〉 2024年7月～9月末ごろ
- 〈掲出場所〉 江ノ電・嵐電沿線、駅やサイネージ

以上



京都 大覚寺大沢池



言の葉に託した思い



鎌倉 腰越海岸

〈特別協力〉

旧嵯峨御所 大本山大覚寺



〈制作〉



〈後援〉



『小倉百人一首』にみる水にちなんだ二首

学校の授業や、かるた取り大会でもお馴染みの『小倉百人一首』は、平安時代末期～鎌倉時代に歌人としても活躍した公家の藤原定家が、京都の小倉山の麓にある山荘で百人の歌人の秀れた和歌を一首ずつ選び、和歌集として編纂したものです。平安・鎌倉の時を超え、二人の歌人が大覚寺大沢池、鎌倉海岸の水を歌に詠みました。



『滝の音は 絶えて久しく なりぬれど
名こそ流れて なほ聞こえけれ』

大納言公任

嵯峨嵐山文華館所蔵



『世の中は 常にもがもな 渚漕ぐ
海人の小舟の 綱手かなしも』

鎌倉右大臣

嵯峨嵐山文華館所蔵

大納言公任（藤原公任）

「滝の水の音が聞こえなくなってから長い年月が経ってしまったが、その評判だけは、今日でも知られていることだ」と詠んだ藤原公任（ふじわらのきんとう）は藤原道長の全盛期を大納言として補佐しました。

大覚寺と大沢池

弘法大師空海を宗祖と仰ぐ真言宗大覚寺派の本山で、正式には旧嵯峨御所大本山



大覚寺と称し、嵯峨御所とも呼ばれています。平安初期、嵯峨天皇が檀林皇后とのご成婚の新室である離宮（離宮嵯峨院）を建立され、876年に嵯峨院が大覚寺となりました。公任が訪れた時には庭園にある滝が既に枯れていたのですが、今も「名古曾の滝」跡が残っています。大沢池は嵯峨天皇が造営された、周囲約1kmの日本最古の人工の林泉（林や泉水などのある庭園）です。

【アクセス】

京都市右京区嵯峨大沢町4 TEL:075-871-0071
京福嵐山線「嵐電嵯峨駅」下車、徒歩25分
もしくは京都バス・京都市バス「大覚寺」下車

鎌倉右大臣（源実朝）

「世の中はこんな風に常に変わらないで欲しい。渚で漁師の漕ぐ小舟が引き綱を引いている、この何気ない様子に心惹かれるなあ」と詠んだ3代将軍実朝でしたが、鶴岡八幡宮で右大臣就任を報告する拜賀式の帰途、甥の公暁に命を奪われるという波乱の最期を迎えることとなります。

腰越海岸

現在、沖にサーフィンを楽しむ人が集う腰越海岸では、名物のしらす漁やわかめの養殖などが営まれ、毎月第1・3木曜日に開催される朝市は新鮮な海の幸を求める人で賑わいます。実朝が心惹かれた湘南らしい景色と、日常から離れた何気ない時間を感じられる海街がここには変わらず続いています。



【アクセス】

江ノ電「腰越駅」下車、徒歩5分

嵯峨嵐山文華館 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 (<https://www.samac.jp/>)

百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアム。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込むロケーションで、1階の常設展示では、この地で藤原定家が撰んだ百人一首の歴史を、現代の競技かるたも含めてご紹介。百人一首と日本画を楽しみつつ、ゆったりとおくつろぎいただけます。



あたらしい
「こト」
みつけよう

江ノ電 × 嵐電 共同PR事業「あたらしいコトを見つけよう」

鎌倉・京都。東西の「古都」で六感をとぎすまし、あたらしい「コト」をたくさん見つけてみませんか。

〈2024年10月14日に姉妹提携15周年を迎える江ノ電・嵐電は、

鎌倉・京都の魅力の発信と持続可能な観光の実現を目指します〉